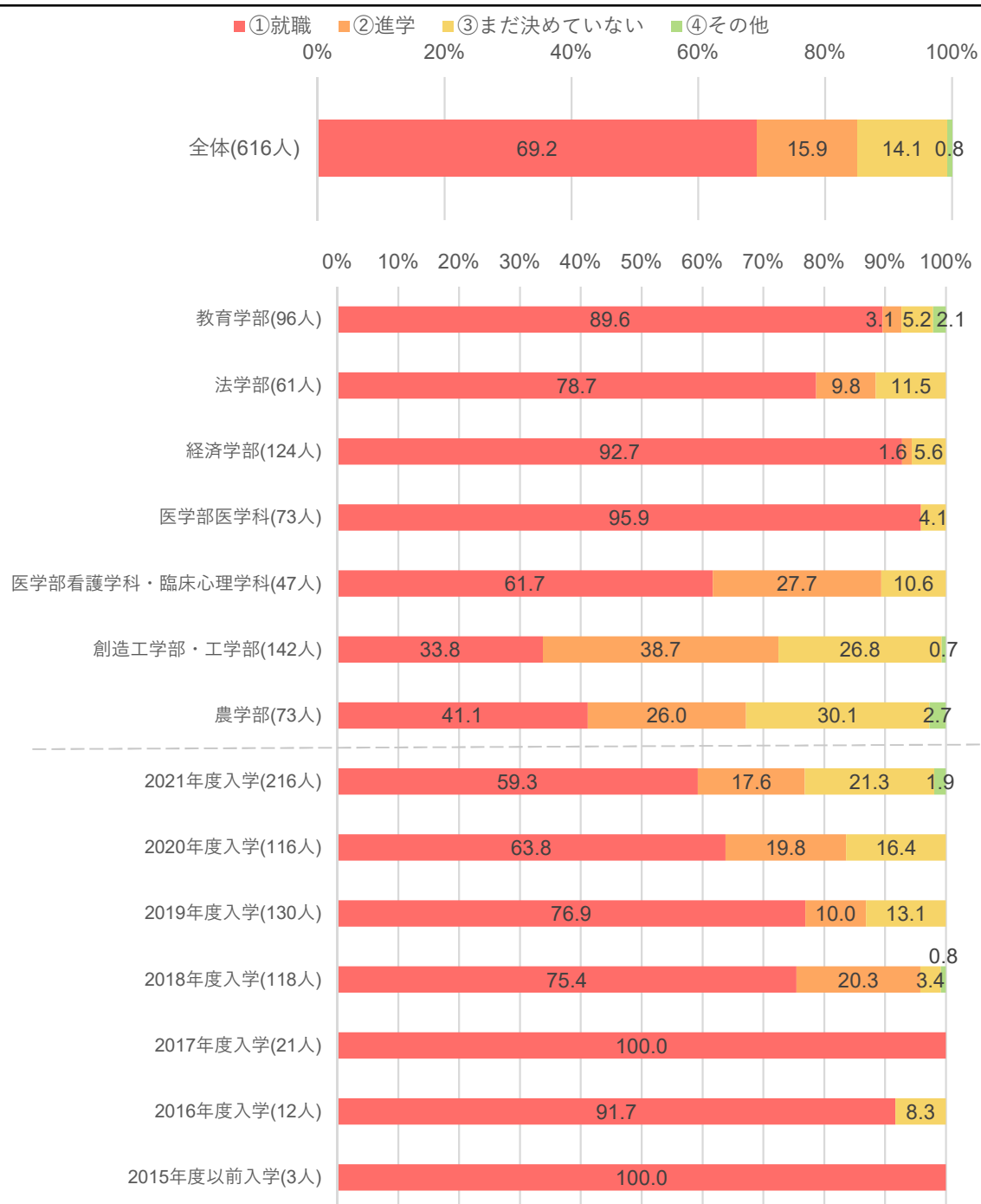


3 職業選択

(1) 卒業後の進路

問34 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

全体の69.2%の学生が卒業後の進路として「就職」を考えています。前回の調査時では「就職」を選んだ割合は73.5%でしたので、若干の減少と言えると思います。その分上昇したのが「進学」でした（今回15.9%。前回12.3%）。「進学」と答えた学生が多かった学部は創造工学部・工学部と医学部看護学科・臨床心理学科、農学部でした。専門性の高い人材が社会に必要とされていることが背景にあると思われます。また、創造工学部・工学部と農学部では、就職と進学で迷っているか、「まだ決めていない」を選んだ学生の割合が高くなっています。

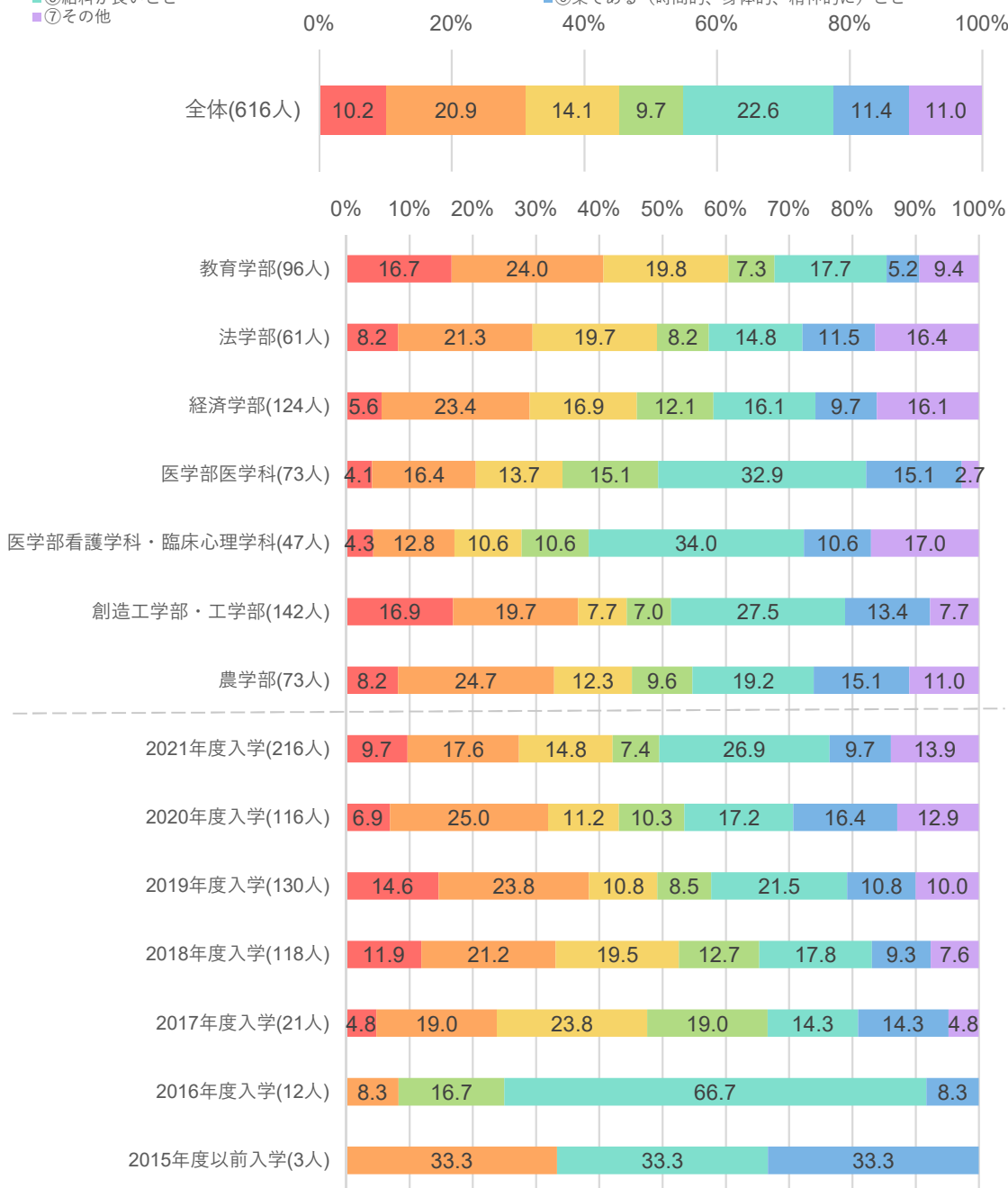


(2) 選ぶ基準

問35 あなたがアルバイトをしたとき、何を基準にして仕事を選びましたか。

アルバイトを選ぶ基準は、全体では「給料が良いこと」が最も高く、「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」、「おもしろい仕事や好きな仕事であること」が続いています。学部別に見ると、教育学部、法学部、経済学部、農学部では「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」が「給料が良いこと」より高く、医学部医学科では「仕事内容と自己の能力や経験がよく合致していること」と「給料が良いこと」が高く、医学部看護学科・臨床心理学科では「給料が良いこと」が特に高くなっています。

- ①新しい知識や技術を学ぶ機会が多いこと
- ②社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと
- ③おもしろい仕事や好きな仕事であること
- ④仕事内容と自己の能力や経験がよく合致していること
- ⑤給料が良いこと
- ⑥楽である（時間的、身体的、精神的に）こと
- ⑦その他

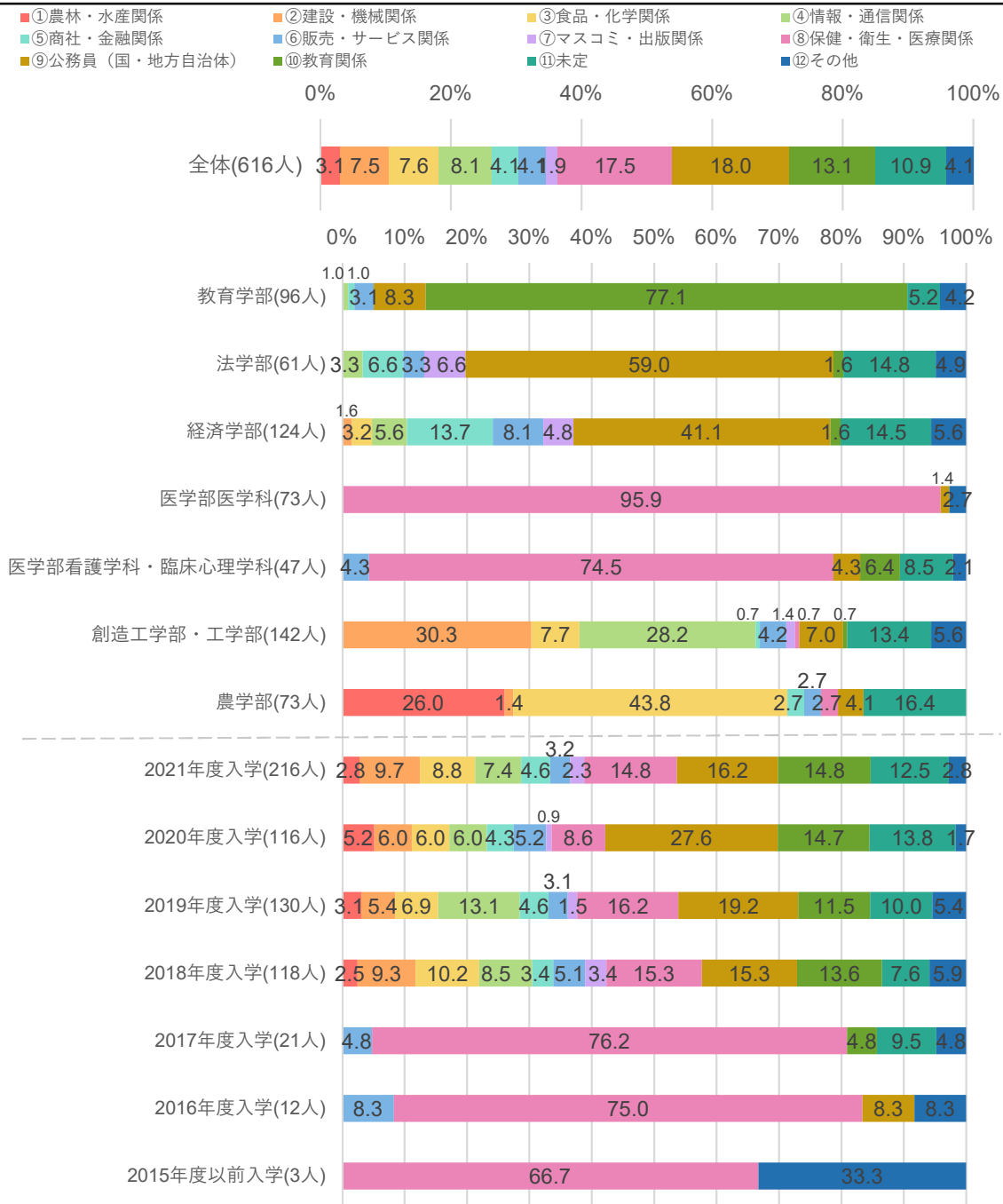


(3) 希望する分野

問36 職業を決めるにあたって希望する分野は何ですか。

次のうちから一つ選んで教えてください。

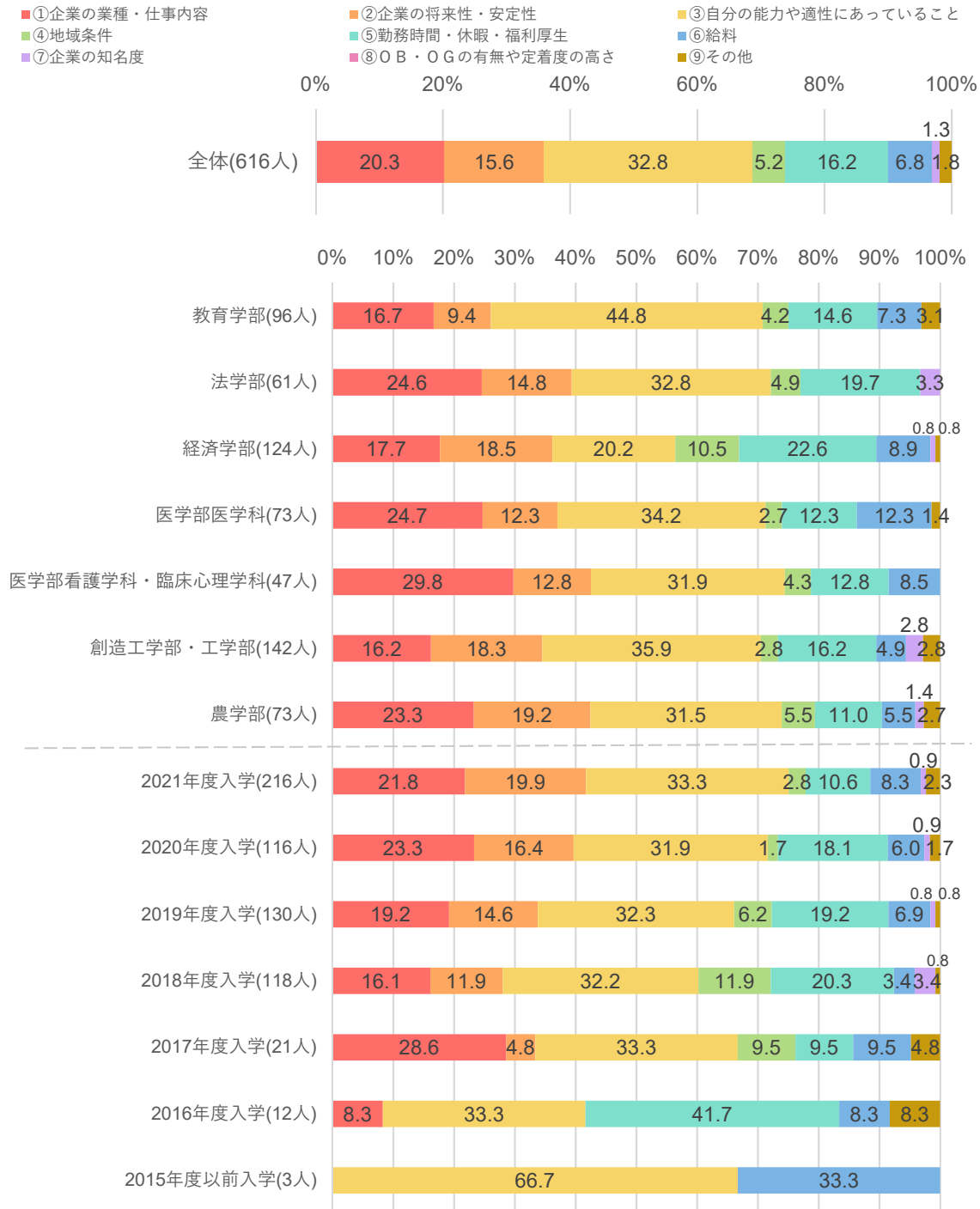
希望する職業分野は、全体では「公務員（国・地方自治体）」が18.0%で最も高く、次いで「保健・衛生・医療関係」、「教育関係」の順となっています。学部別にみると、教育学部では「教育関係」、法学部と経済学部では「公務員」、医学部では「保健・衛生・医療関係」、農学部では「食品・化学関係」で最も高く、工学部・創造工学部では「建設・機械関係」と「情報・通信関係」が同程度に高い傾向がみられ、将来の希望職種分野と学部の特色が強く相関しています。



(4) 職業選定で重視すること

問37 職業を決めるにあたって重視することは何ですか。

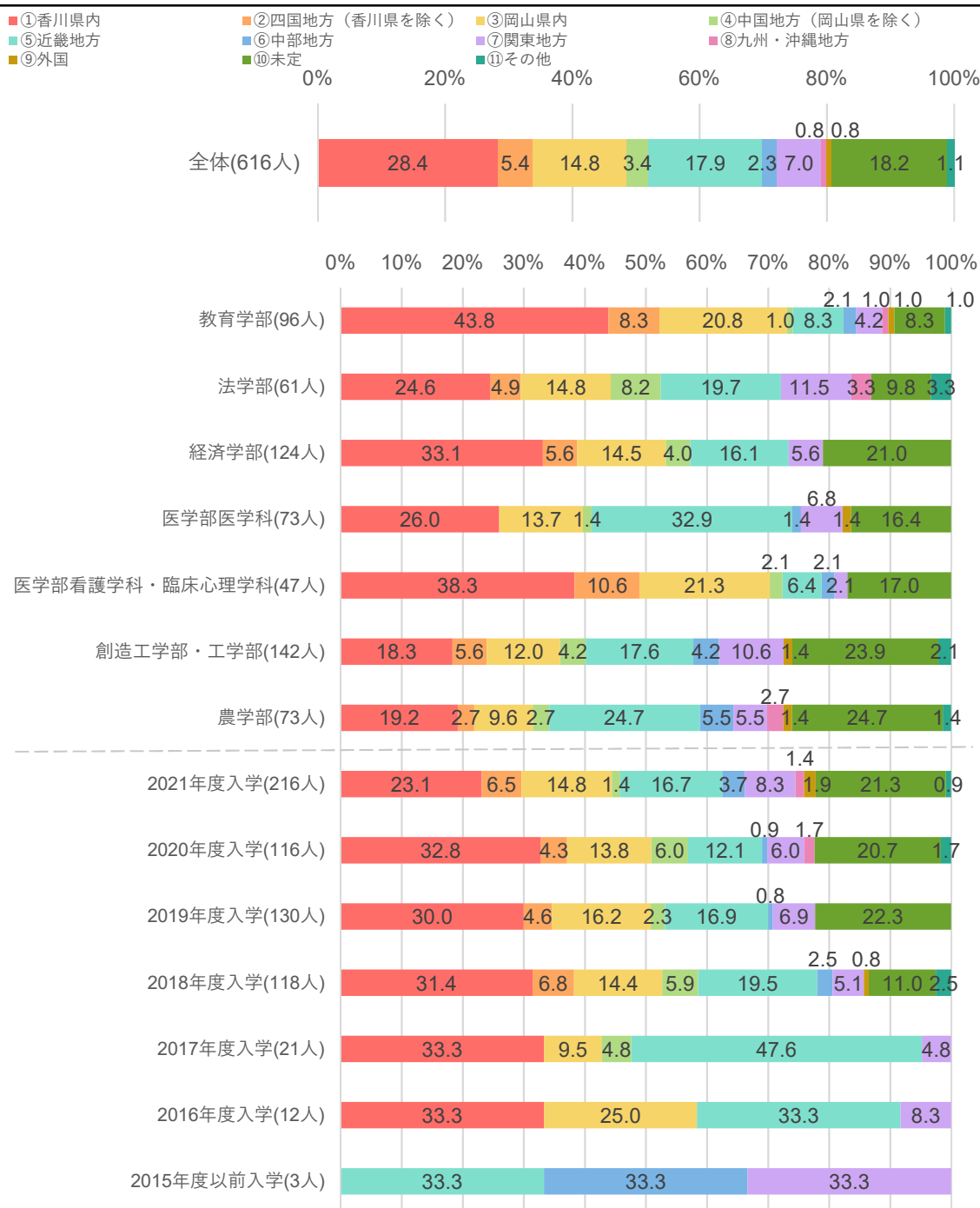
職業を決めるにあたって重視することは、全体では「自分の能力や適性にあっていること」が32.8%で最も高く、次いで「企業の業種・仕事内容」、「勤務時間・休暇・福利厚生」、「企業の将来性・安定性」の順となっていて、前回の調査と同じ傾向となっています。学部別で見ると、経済学部のみが「勤務時間・休暇・福利厚生」がトップとなっていて、それ以外の学部では「自分の能力や適性にあっていること」が高い傾向が見られます。また、「企業の業種・仕事内容」は全学部を通して高い傾向が見られます。



(5) 就職希望地域

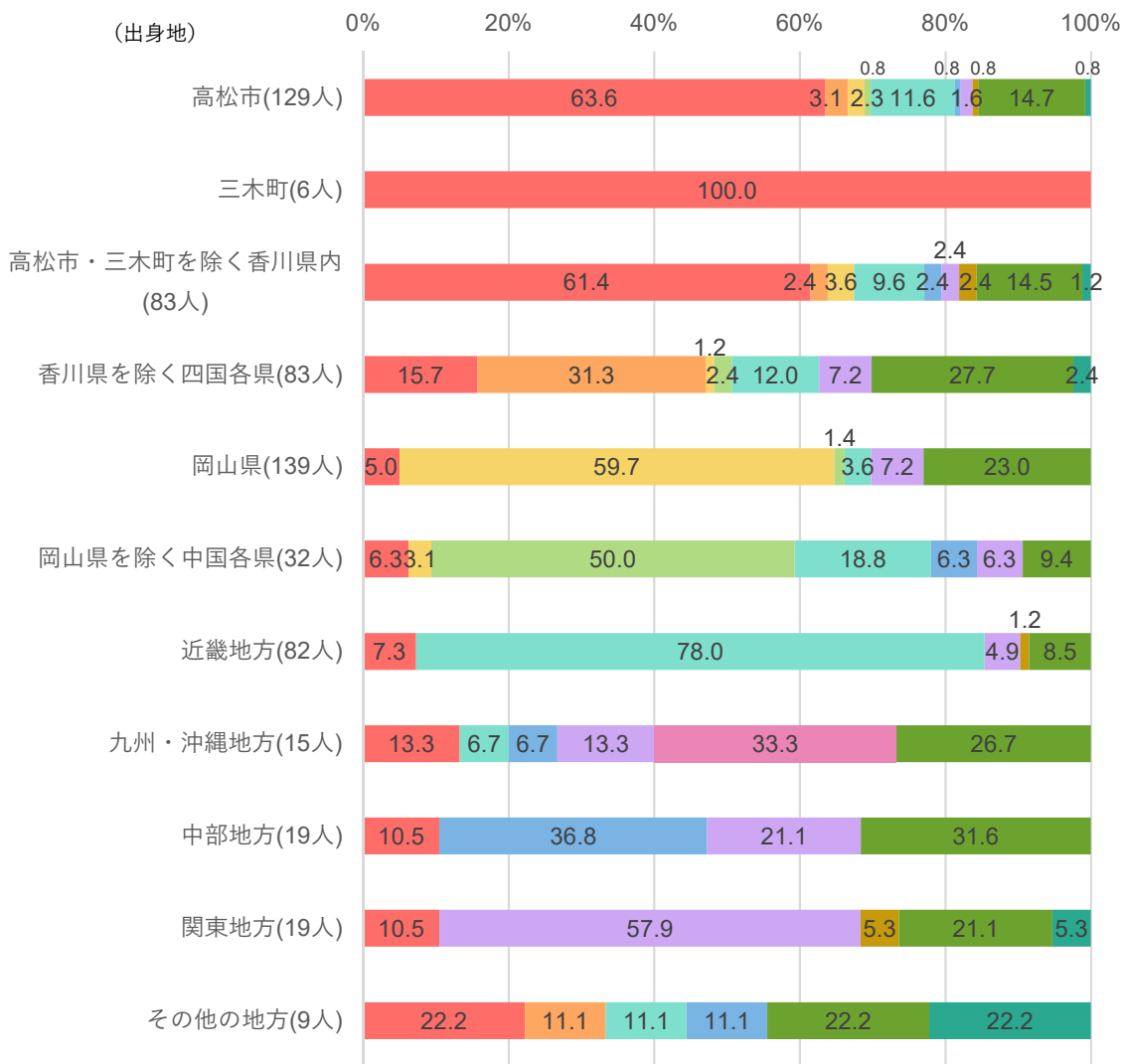
問38 就職先としてどの地域を希望しますか。

就職先として希望する地域は、全体では香川県内が28.4%で最も高く、次いで「未定」、「近畿地方」、「岡山県内」の順となっています。学部別にみると、希望する地域に差異がみられます。特に教育学部と医学部看護学科・臨床心理学科では、それぞれ43.8%と38.3%が香川県内を希望し県内での就職を希望する学生が多い傾向が見られます。それ以外の学部では「未定」を除くと、「近畿地方」を希望する割合が高く、都市圏を就職先として希望する傾向が見られます。また、香川県出身の学生は、香川県内での就職を希望する割合が非常に高いことがわかります。



(就職先 × 出身地)

- ①香川県内
- ②四国地方（香川県を除く）
- ③岡山県内
- ④中国地方（岡山県を除く）
- ⑤近畿地方
- ⑥中部地方
- ⑦関東地方
- ⑧九州・沖縄地方
- ⑨外国
- ⑩未定
- ⑪その他

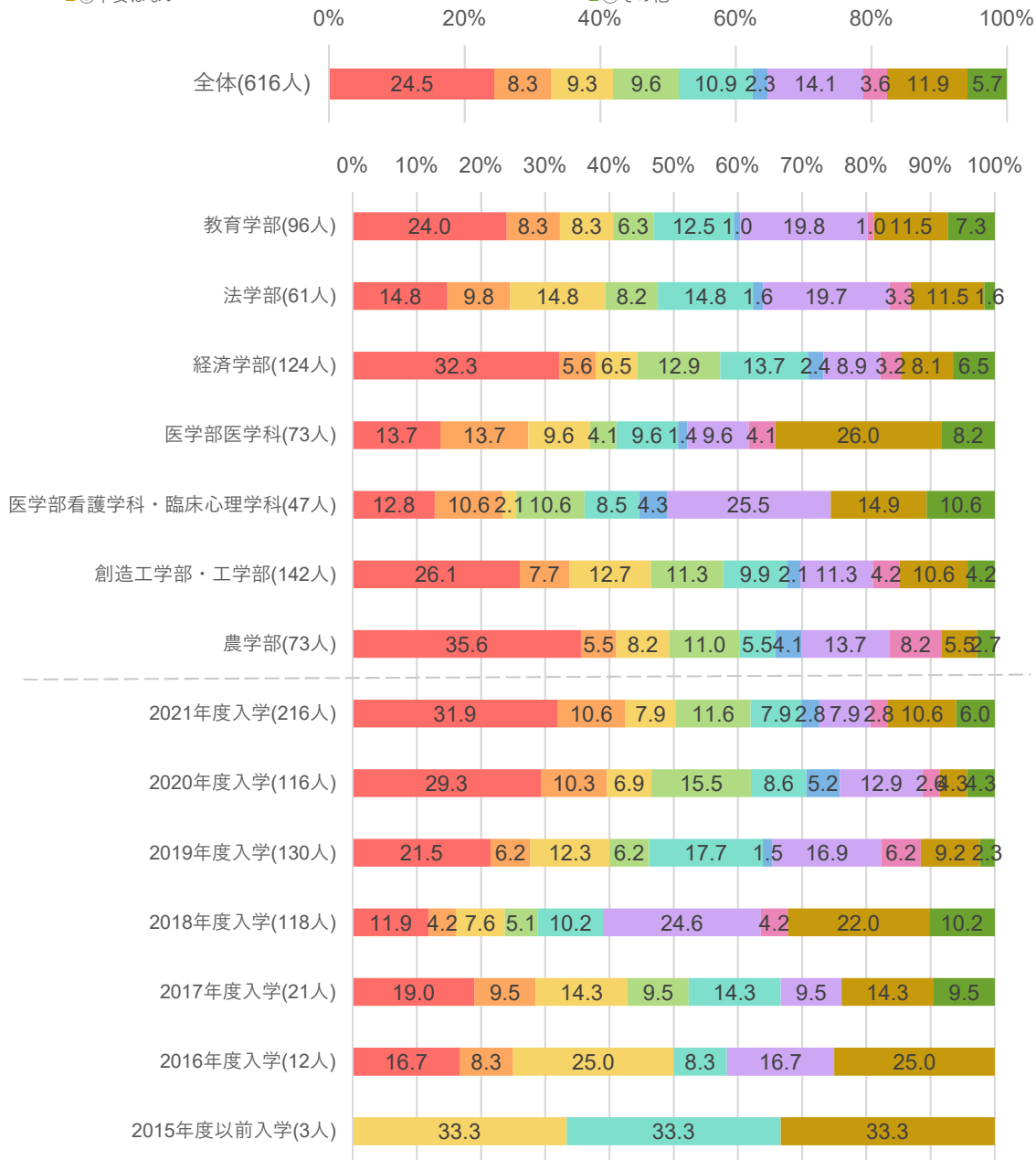


(6) 就職活動で不安なこと

問39 就職活動に関して、不安に思っていることは何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

就職活動に関して不安に思っていることは、全体では「自分が何に向いているかわからない」が24.5%と最も高く、次いで「面接が不安」の順になります。学部別にみると、教育学部では全体の傾向に近くなっています。「自分が何に向いているかわからない」は、経済学部と農学部では高く、自分の将来像を明確化できていない傾向が見られます。逆に、医学部と法学部では「自分が何に向いているかわからない」は低くなっており、前回調査時と同じ傾向が見られます。さらに医学部医学科では「不安はない」26.0%が最も高くなっており、他学部より将来に不安を感じていない学生が多い傾向が強くなります。

- ①自分が何に向いているかわからない
- ②情報収集のやり方がわからない
- ③他の学生に遅れをとっている気がする
- ④就職活動のやり方がわからない
- ⑤希望企業が自分を採用してくれるか自信がない
- ⑥語学が苦手である
- ⑦面接が不安
- ⑧大学の成績がよくない
- ⑨不安はない
- ⑩その他



(7) 就職に関する大学への要望

問40 就職に関する大学への要望について、次のうちから一つ選んで答えてください。

就職に関する大学への要望は、全体では「面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実」が23.4%で最も高く、次いで「相談員による就職相談、職業適性検査の充実」、「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」の順となっています。学部別にみると学部によって要望は異なり、教育学部では「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」、法学部、経済学部、医学部看護学科・臨床心理学科、創造工学部・工学部、農学部では「面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実」、医学部医学科では「相談員による就職相談、職業適性検査の充実」の要望が高くなっています。

- ①就職情報誌、就職関係書籍、PC（利用環境）の充実
- ②ガイダンス、セミナー等の充実
- ③相談員による就職相談、職業適性検査の充実
- ④面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実
- ⑤就職・職業に関する授業（キャリア科目）の充実
- ⑥公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策
- ⑦企業説明会の内容充実、回数の増加
- ⑧求人企業の開拓強化
- ⑨その他

